

議会だより



絆のかけ橋・福島県からのしだれ桜

～3月8日 農村公園にて～

3月定例会報告

町民の期待を込めてスタート!!	2
特別会計予算・意見書	4
議案審議結果	5
町政を問う・一般質問に10人が登壇	6
常任委員会報告	12
臨時会報告・一部事務組合報告	13
議会クイズ・編集後記	14

No. 124

2014.5.1発行

町民の期待を 込めてスタート!!

第1回定例会



順調に進む良品計画嶋山センター



入西赤沼線開通



新装なった 小中学校プール



100人で食べよう!「食コミ」

平成26年第1回定例会が3月3日から3月14日までの12日間にわたり開催されました。町長から提出された議案は、町の条例に関するもの3件、埼玉県市町村事務組合の規約変更に関するもの1件、町営ニュータウン駐車場の指定管理者の指定に関するもの1件、平成25年度一般会計及び特別会計補正予算の議定に関するもの7件、平成26年度一般会計・特別会計及び企業会計予算の議定に関するもの8件、町営土地改良事業の経費の賦課基準並びにその徴収の時期及び方法に関するもの1件、工事請負契約の変更契約の締結に関するもの1件の合計22件でした。全議案とも可決されました。また、国に対する意見書が2件提出され、それぞれ可決されました。

平成26年度 一般会計予算

歳入

問 個人町民税の中で均等割りは何人か。

答 前年度の見込み7430人に対し、80人減の7350人を見込んだ。よって一人当たり500円を乗じて1年間で367万5000円を見込んで

問 石坂の森・東松山市民の森は、今後どのようにする予定か。

答 昨年度より嶋山・東松山の両者で検討を重ねている。今年度はリーフレット及び2つの森を一緒に案内板にして設置する方向でいる。

問 良品計画の関係で固定資産税の収入はいくらか。

答 現在建設中のため、土地については宅地として課税する見込みだが、平成27年度からの課税となる。

問 ジャンボ公園の新設トイレの規模はどの程度か。

答 公園の北西部を想定しており、今後の設計で決定する予定。

歳出

問 電気自動車の件だが、急速充電施設は一般町民も利用することは可能か。

答 利用に際しては、多くの町民の方にご利用頂けるよう今後さらに検討を進めていく予定である。

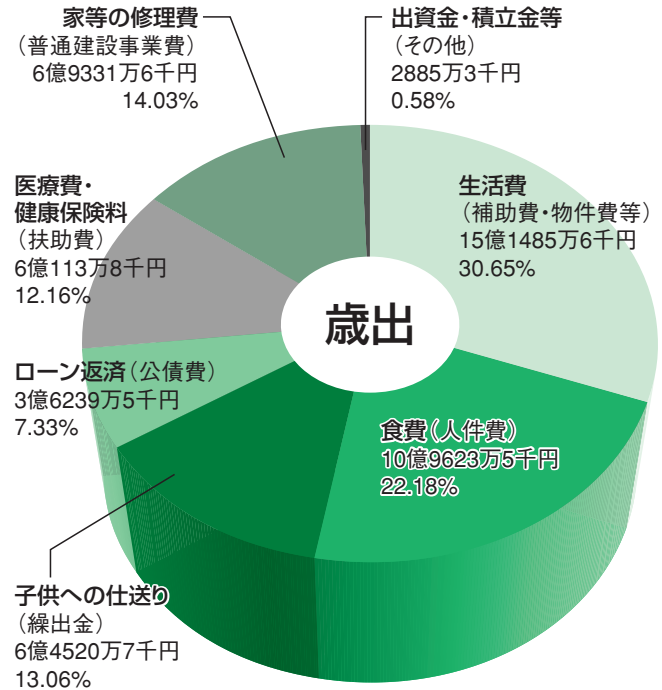
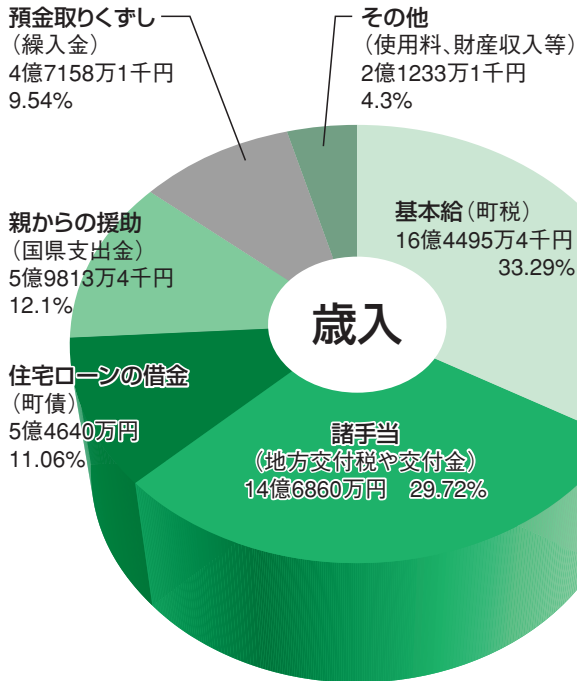
問 給食センター改築基本設計業務委託料が計上されているが、詳しく説明願う。

答 給食センターは昭和56年に開設され、32年以上が経過しており、「学校給食の新たなあり方調査検討委員会を立ち上げた。今年、提言書が提出されたので具体的に検討していく。

鳩山町の財政を
家計簿にしました。



平成26年度一般会計予算 49億4200万円



問 地域福祉推進プラン推進委員の役割・業務と

答 町社会情報システム共同化に伴い、既存のシステムのリース解約金が発生する。

問 リース解約金が3065万8千円とあるが内容について伺う。

答 全体面積が約60坪弱で、産業振興課が窓口となる。集会所は2部屋で、合同部屋として利用も可能。更に今後検討を重ね使用しやすいようにする。

問 改築予定の亀井農村センターの規模・利用方法について伺う。

答 全体面積が約60坪弱で、産業振興課が窓口となる。集会所は2部屋で、合同部屋として利用も可能。更に今後検討を重ね使用しやすいようにする。

問 4月号の広報でお知らせする。医療機関などで検査後、領収書など必要書類を保健センターへ提出すると補助金が出る結果の通知などについては保健センターと今後協議を続ける。

問 胃がんリスク検査の関係で、ピロリ菌検査の方法・通知等について伺う。

問 どのようなものか。

答 町と社協で共同して策定し、このプランの進捗状況などを管理・評価する委員会である。

問 旧地域下水処理場への太陽光発電システムの設置場所について、日照時間が少ないと思うが、発電量はどのくらいか。

答 季節により日照時間は懸念されるが、設計の結果200キロワットを予定している。

問 あんずの里づくりの今後の規模・栽培について伺う。

答 23・24年度まで毎年300本植え付け600本になったが、本年は大幅に減少し62本とし、合計662本になった。プロジェクト委員・ボランティア委員の方は、非農家の方が多いため、除草作業も専門の方に一部委託している。

問 今後は6次産業化も含め検討していく。

問 個人町民税で復興税1人500円が始まること。東日本大震災で被災された地域や人々への寄付と考えている町民も多いと思うが、やはり雪対策等に使うべきだと思う。

答 あんずの里づくりでは将来展望を早めにするべきである。

賛成討論
厳しい財政状況の中、補助金等の活用により大きな事業が進められている。公園管理など暮らしに密着した細やかな部分に十分な予算配分が出来ていない。

マイナンバー制度に関するシステム改修などが盛り込まれている。国民に番号をつけて国が管理していく流れには反対だが、予算が執行されなければ住民の日々たゆまず動いている暮らしが滞ってしまつので、賛成する。

反対討論
個人町民税で復興税1人500円が始まること。東日本大震災で被災された地域や人々への寄付と考えている町民も多いと思うが、やはり雪対策等に使うべきだと思う。

あんずの里づくりでは将来展望を早めにするべきである。

(野田)

(根岸)

国保財政健全化のための プロジェクトチームを組む

問 国保の予算編成の考え方は。

答 医療費の抑制を重点に置き予算編成を行っている。医療費分析及びデータの活用を図る。

問 予算の分析といっても、迫真性がない。平成26年度予算額は前年比1億3000万円ふえたわけだが、それでも25年3月補正時点の19億6000万円に比べると1億5000万円も及ばない。なぜこんな小さな予算を立てるのか。

答 医療費の動向は流動的な要素が多いため見込みが難しいことや、基金等の残額もない。当初より一般会計からの繰入金にも限度額があるため、補正予算の対応となっている。

問 年度末に追加補正を繰り返していくと実態を反映しない予算をつくり続ける。だから国保会計を見直す気分が起こらない。

答 今の鳩山町の著しい高齢化は医療費削減だけでは、効果はあるが難しい。来年度早々国保財政健全化のためのプロジェクトチームを組み、年次計画を立てて国保財政健全化に取り組みたい。

問 一般会計も含めた財政計画全般を見直す必要がある。

答 一般会計については、特殊要因があり、26年度、財政調整基金等からの繰入額が多くなった。27年度は、特殊要因がなくなる。基金の繰り入れなく予算編成をする決意で

問 保険財政共同安定化事業交付金は10万円以上が対象だったが、26年度は5万円になる。目指している金額は。

答 27年度には全ての医療費に拡大される。医療費に拡大される。

問 年々正確にデータとして確保していく、それによって正確な当初予算の積み上げができていくのではないかと議論されている、さまざまな国保の制度、仕組みや保険税はどうあるべきなのか、根本的な議論をしていきたい。



国へ2件の意見書を提出しました!

集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書

提出者 野田小百合
賛成者 小峰 文夫
賛成者 日坂 和久

特定秘密保護法の撤廃を求める意見書

提出者 根岸富一郎
賛成者 石井 計次
賛成者 野田小百合

〈反対討論〉

国家安全保障に係る秘密の漏えいを防ぐのがこの法律の目的であり、機密性の高い特定秘密を保護するのが狙いである。戦争の時代に戻るといってもではなく、安全保障上の備えをしたのにすぎない。国民・領土・国益を守るための法律である。

(小川)

〈賛成討論〉

情報の適切な管理と公開の徹底、国会による監視機能の徹底こそが民主国家の基本である。国民の知る権利を侵し、言論の自由、取材・報道の自由を脅かす。個人のプライバシーを侵害する。この法律は憲法の精神に反するものである。

(野田)

〈反対討論〉

集団的自衛権行使の解釈などを見直し国民の生命と安全を守るのである。周辺国との戦争を避けるために世界の常識に沿った防衛力の整備をすることが重要である。

(小川)

〈賛成討論〉

集団的自衛権の行使が認められるならば、特別措置法で規定された歯ごたえも取り払われることになる。戦後、平和憲法のもので歩んできた国のあり方を根本から変える集団的自衛権の行使容認は絶対に認められない。

(根岸)

〈賛成討論〉
集団的自衛権の行使は必要と考えるが、その行使の内容については国民的議論が必要である。行使容認については正面から憲法改正の議論によつ

～おめでとう～



1月28日リリックおがわ(小川町民会館)において、平成25年度比企郡町村議会議長会表彰式が行われ、町議会議員として10年以上在職した議員として、小川唯一議員、野田小百合議員が表彰を受けました。

人権擁護委員に
宮崎 稔 氏を
推薦する意見

人権擁護委員の任期満了に伴い、大豆戸に在住の宮崎稔氏を推薦することに対する意見を求められ「適任である」としました。



議案の審議結果

○は賛成 ●は反対 議は議長

議案		議員氏名											審議結果			
		田中種夫	松浪健一郎	日坂和久	森利夫	野田小百合	小川唯一	石井計次	小峰文夫	松田隆夫	根岸富一郎	中山明美		小鷹房義		
第1回臨時会	町長提出	平成25年度一般会計補正予算(第4号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		工事請負契約の締結(毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業第5街区7画地ほか宅地整地工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
第1回定例会	町長提出	災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		水道事業給水条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		埼玉県市町村総合事務組合の規約変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		町営ニュータウン駐車場の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度一般会計補正予算(第5号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計補正予算(第5号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度介護保険特別会計補正予算(第3号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成25年度浄化槽設置管理事業特別会計補正予算(第1号)の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度一般会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度国民健康保険特別会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度介護保険特別会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度後期高齢者医療特別会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度農業集落排水事業特別会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
		平成26年度浄化槽設置管理事業特別会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成26年度水道事業会計予算の議定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
町営土地改良事業の経費の賦課基準並びにその徴収の時期及び方法について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		
工事請負契約の変更契約の締結(毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業第5街区7画地ほか宅地整地工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	適任		
議員提出		特定秘密保護法の撤廃を求める意見書	●	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	議	原案可決	
		集団的自衛権行使を容認する解釈改憲を行わないことを求める意見書	●	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	議	原案可決	
		議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

町政を問う!

一般質問 10議員が質問

一般質問をした議員自身の原稿を基に編集しました。

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

- 野田小百合 議員 1 雪の対策について
- 2 望まれる図書館のあり方について
- 3 子どもの食をめぐる環境について
- 日坂 和久 議員 1 鳩山町地域防災計画について
- 2 鳩山町地域福祉推進プランについて
- 松浪健一郎 議員 1 鳩山ニュータウン再生・創造事業について
- 2 北部地域活性化について
- 根岸富一郎 議員 1 町が責任を持ち、民主的な地域行政を
- 2 介護保険料の引き下げと要介護認定率について
- 3 町の人口増加策について
- 石井 計次 議員 1 災害対策について
- 2 財政状況について
- 3 まちづくり行政(インフラ整備)について
- 4 ゆるキャラについて
- 田中 種夫 議員 1 企業誘致及び越辺川大橋の開通について
- 2 公共施設の美化について
- 小川 唯一 議員 1 農業行政
- 森 利夫 議員 1 南比企業跡郡の国指定史跡化等に関して
- 2 今宿のプラザMに開設した「はーとんカフェ今宿」について
- 中山 明美 議員 1 地域防災力の強化を(消防団支援法について)
- 2 認知症予防について
- 3 障がい者の雇用について
- 小峰 文夫 議員 1 企業誘致について
- 2 太陽光発電による屋根も働く鳩山町のこころ
- 3 北部開発について
- 4 町営宴会場づくりについて

大雪対策

除雪範囲を広げられないか

除雪可能車や運転手の確保が難しい



野田小百合 議員

問 大雪による被害状況はどのようか。

答 2月25日現在で把握しているのは、住宅等の被害戸数487戸。住宅16件、車庫・カーポート457件、倉庫・物置など26件。農業被害は約2500万円。

問 救急車の緊急出動は3件で、3人の方が軽症。

問 町は雪の対策をどのようにしているか。

答 町内6つの建設業者と『地震災害、風水害等に関する協定』を締結している。この協定書に除雪、凍結防止剤散布作業が入っている。県道は県が除雪する。幹線町道と通学路、循環バス路線等を中心に6つのエリアに分け、事業者ごとに作業を実施する。

問 除雪範囲をひろげられないか。

答 生活道路の除雪は、除雪可能車両や運転者の確保という面からも正直難しい。

問 滞在型図書館への方向性についてどのよう

に考えているか。

答 必要性は認識している。現状の図書館の限られた施設の中で、どのようなことができるか、さらに検討していきたい。

問 食育は知育、徳育、体育と並んで教育の根幹をなすもの。教科書と同様に食育を進めるための給食費は本来、公費負担とすべきものではないか。

答 教科書は全ての児童・生徒が等しく使用するもの。給食は実施していない自治体も多く、食費も地域により違う。財政的な面以外でも複雑な条件が絡むので制度設計が難しい。



ある日の給食
鳩豆ポタージュは
コンテスト優勝作品

日坂 和久 議員



防災計画・雪害対策

地域防災計画に雪害を盛り込むべき

雪害ならではの問題として盛り込む

鳩山町地域防災計画・雪害対策について

問 町は本冬期の降積雪を災害と捉えているのか。

答 鳩山町地域防災計画では、大雪に対する具体的な対策・活動について規定していないが、今回の大雪は災害に当たると考えている。

問 地域防災計画の一部見直しが行われたばかりだが、近年の異常気象を鑑み、今後の雪害対策の再考を要望する。

答 災害と認識をして対策をとる。大雪ならではの問題があり、防災計画に盛り込む必要がある。

問 雪路立往生車による道路交通障害が発生した。避けようとした車同士の衝突等、2次災害も考えられる。対応策を考へてはどうか。

答 車のスタック回避のため、坂道に砂を置くのも防止策だ。現在では撤去することも難しく、政府の官房長官もやっと撤去できる仕組みについて言及した。

問 災害対策本部の設置は検討したのか。

答 災害レベルの大雪と判断したが、立ち上げなかった。今後は臨機応変に対応していく。

問 今回の災害で参集した職員数は近隣自治体と比較して少ない。参集について如何に考えているのか。

答 災害に応じて自主的に参集するなど、職員としての使命感・責任感を持った行動を起こす心構えが必要である。

問 災害時に援護が必要な方々への対応、安否確認は実施できたのか。

答 雪害対策は想定しておらず、指示は出していない。



今後、大雪・竜巻・大型台風等への防災対策も必要だ

北部地域活性化

北部地域へ幹線道路の整備は

基礎調査を実施中

問 鳩山ニュータウン再生・創造事業についてその内容を伺う。

答 旧松栄小学校跡地に高年者が輝くまちづくり事業として、福祉・健康複合施設の整備計画を3月末までにまとめる予定。そして、特別養護老人ホームの法人等を選定していく。

問 鳩山ニュータウンの将来ビジョンを伺う。

答 国土交通省の補助事業である地方都市リノベーション事業の活用など、財源を確保し、町民と一緒にビジョンを描いて行きたい。

問 北部地域活性化に向けての基本方針を伺う。

答 第5条で幹線アクセス道路の整備があり、既に基礎調査を実施中だが、入西・赤沼線から先の道路をこのように整備するところを考えると、今のところまとまっていない。

問 北部地域活性化と次期更新施設絡みで、泉井地区から



国指定が待たれる新沼窯跡

要望書が出ているようだが。

答 拝見した。入西・赤沼線延伸の調査費用を計上し、4月から北部地域活性化推進室を作り進めていきたい。

問 泉井側の更新施設の画地は新沼窯跡の近くだが、新しい窯の遺跡の可能性と、出た時の更新施設に対する影響は。

答 地形から考えて問題ないと思う。だが、一部文化財が出た時は、文化財保護法が優先されるので、建設工期に影響が出る。ただ、小規模な遺跡であれば、影響は少ないと思う。

根岸 富一郎 議員



給食費の軽減、住宅への支援を 新規就農者の子育て支援住宅を研究中

問 町が責任を持ち、民主的な地域行政を問う自治区の規約の制定状況はどうか。

答 7自治区が制定済み、1区が検討中。

問 区長の職務を明文化しないか。

答 自治区の区域が地縁を原則にしていない場合があること。また、ニュータウン地域の自治組織のあり方を検討中でありその報告を待って、規則等の検討をしたい。

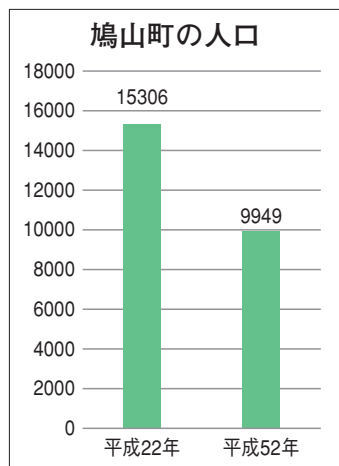
問 福祉委員の選出状況はどうか。

答 石坂1、石坂2、須江、竹本からそれぞれ女性1名を委嘱している。

問 介護保険料と健康づくりの関連性は。

答 要介護認定者割合が低く、保険料の低い保険者の取り組みでは、体操、運動教室を行っていているところが多い。

町は地域



国立社会保障人口問題研究所

健康教室のような高齢者を中心とした地域の支え合い、互助により、介護予防や生活支援を進めることが大切になってくる。

問 町の人口増加策で学校給食費の値下げは。

答 教育の一環でもあがるが、食事は保護者が面倒見るもの。

問 こども医療費窓口払い廃止の拡大は。

答 平成26年4月から、坂戸市、鶴ヶ島市管内までエリアを拡大する予定だ。

問 住宅取得、入居応援策はどうか。

答 新規就農者を対象とした子育て支援住宅で、農林水産省の補助金を活用することを、今研究している。

石井 計次 議員



安全対策

県道、男坂・重郎橋間の拡幅を

平成26年度 測量調査を行う

問 交通安全の観点から河川改修と切り離して考えないと時間だけが不毛に流れる。

12月議会でも取り上げましたがその後の取り組み状況を伺う。

答 歩道もなく危険な区間である。

町として国・県と話し合いを持った。県の担当者から越辺川・鳩川の改修工事が実施されなくとも県道岩殿・岩井線のこの区間の改良を実施できないか検討する。

26年度、測量調査を実施する。歩道についても県から話が出ている。

2月の記録的大雪について

問 本町の被害状況を伺う。

答 住宅、物置など合計499件。農業への被害状況はビニールハウス、牛舎鶏舎などの施設被害は概算1950万円、農作物被害額は約500万円。

問 今後、災害で壊れた廃材の受け入れの一時保管場所を検討できないか。

いか。

答 公共財産の目的外使用の問題がある。防災計画とあわせて検討していきたい。

問 今回の大雪での教訓は何か伺う。

答 除雪については当初から細かくお願いしておくべきであった。除雪以外の教訓として、高齢者世帯から「外に出られない」などの不安の電話も役場に入った。災害時要援護者の仕組みを機能させるよい機会だったが、その機会を逃したと反省している。地域の支えあいの仕組みをしっかりつくり上げていかねばと改めて認識した。



拡幅要望の多い、重郎橋北側

田中 種夫 議員



施設改修

公共施設の改修を早急にすべき

補助事業を活用し財源の確保を図る

問 奥田地内の企業誘致、赤沼地内の食品系スーパー誘致、越辺川大橋の開通など町内は大きく変わろうとしている。そこで町内関連道路の交通量の増加が考えられるが、どのように対応するか伺う。

答 岩殿・岩井線及び県道ときがわ・坂戸線の交通量の変化はどうか。また中学校の通学路に指定されているが、交通状況により検討すべきであると思うが。

問 公共施設の美化について伺う。以前にも依頼したが、鳩山中学校の生徒用の駐輪場、及び梅沢運動場の男女トイレの老朽化につ

いては、公立の施設として非常に見苦しい。どちらも町外からの来客者も多く、鳩山町の恥部と考えられる。早急に改修をして普通の一般的な施設にすべきである。豪華な施設は不要である。

駐輪場については昭和61年完成当時、1050名の生徒数であったが現在は3分の1に減少している。数回の補修は実施したが今後中学校側と一緒に検討する。また梅沢運動場のトイレについても、今後の早急課題として検討していく。それまでしばらくは町民体育館を利用してほしい。

岩殿・岩井線の交通量は1日当り4300台だが、越辺川大橋開通後は大幅に増加し、8700台と見込まれている。なお、石坂方面については3100台が1200台に減少する試算も出ている。通学路については状況把握して検討していく。



早急に改装工事が待たれる梅沢運動場トイレ

雪害対策

雪害に一刻も早い支援を

県と町で積極的に行う

小川 唯一 議員



問 雪害による被害状況は。

答 農業用施設被害約2千万円、農作物被害約2500万円。被害額は増える。

問 支援をどのように考えているか。

答 特別災害の指定をした。一日でも早い再建を県と町で積極的に支援する。

問 支援を早くしないと農家だけでなく、高い野菜を買う町民が困る。

答 野菜不足の長期化が心配。

問 資金の限度額は。

答 県500万円、町200万円。

問 6次産業化は何をもって行うのか。

答 6つのグループで試作、研究を重ねている。

問 成功例、失敗例をつかんでいるか。

答 地元には人気があるものからの商品作り。

問 亀井農村センター改



雪害に遭ったハウス

築について規模は。

答 木造平屋193・95平方メートル。

問 6次産業化に向けた稼働時期いつか。

答 具体的に何でいつかは申し上げられない。

問 新しくなるわけだが名称は。

答 とりあえず考えてない。

問 浄化槽は何人槽か。

答 5人槽。

問 面積からして問題ないか。

答 5人槽でと県の指導があった。

問 公共用水域の水質保全汚濁防止、雑排水との適正処理という点で問題ないか。

答 放流水質が守られれば問題ない。

森 利夫 議員



国指定史跡化

新沼窯跡等の国指定史跡に遅れは

遅れ等影響があるのは否めない

問 新沼窯跡を始めとする南比企業跡群の国指定史跡化について遅れや問題があるのでは。

答 年度途中で担当職員を交代させるといふ緊急事態が発生し、国指定化への遅れ等影響がある事は否めない。県教育局や文化庁さらに南比企業跡群学術評価委員の先生方に状況を説明し、引き続きのご支援ご指導をお願いした。本年4月より新採用の文化財専門職員を新たに配置し、一連の作業を進める。

問 新採用された文化財専門職員の発掘実績等の内容は。

答 大学院で考古学を専攻し、瓦を専門に勉強した。その後和歌山県と群馬県で各3年間発掘と報告書作成にかかわった学芸員である。

問 新年度4月から、人的体制は。

答 事務を総括する課長補佐級管理職と、発掘や評価書を執筆する文化財保護専門員を

配置する。

問 国指定の範囲は。

答 農村公園周辺の窯跡と新沼窯跡を候補地とし、範囲を拡大したい。

問 数日前、突然の様に開設された、は〜とんカフェ今宿の利用状況や反応は。

答 開所当日約70名、火曜日と金曜日はそれぞれ約30名利用者がいた。次の開所日にまた来る約束をして楽しみに待つお年寄もいた。

問 亀井地区にも開設したいと聞いたが予定は。

答 来年度策定する第6期高齢者福祉総合計画平成27年度から29年度の3か年計画で検討したい。



2月21日に開設した「は〜とんカフェ今宿」

中山 明美 議員



障がい者雇用

障がい者雇用のシステムは

坂戸市障害者就労支援センターに委託

問 役場での障がい者の雇用状況は。

答 4名。法定雇用率は2・3%に対して鳩山町は4・5%。

問 町内企業での障がい者の雇用状況は。

答 町では把握できていない。埼玉県全体の障がい者雇用の状況は調査しているが、町内には調査対象となる企業はほとんどない。

問 障がい者の就労斡旋システムは。

答 坂戸市障害者就労支援センターに委託して障がい者の就労相談等を行っている。求職の相談や情報提供、会社見学や面接への同行、職場定着支援などを行っている。本人と面談を行った後、必要に応じて町と連携を図りながら職業訓練先の紹介やハローワーク登録支援などの就労準備支援などを行っている。

問 障害者支援センターで関わった町内の障がい者の方の雇用状況は。

答 登録者は7名。就労者は2名。

就労支援事業所のB型として鳩山支援センター「はばたき」があるが、一般就労していない方の5名のうち2名がはばたきとの関わりを持つことができている。

問 はばたきから一般就労につながるケースはあるか。

答 2人いると聞いている。

問 良品計画、大型スーパーの雇用の見通しは。

答 障がいのある方もぜひ雇用していただくよう要請している。



就労斡旋にも取り組む毛呂山特別支援学校

小峰 文夫 議員



企業誘致

従業員募集、説明会の予定はいつか

5月(17、18)(24、25)の4日間

問 奥田地区に工事の良品計画の説明会はいつからか。

答 良品計画の操業開始が平成26年11月の予定なので、その前に従業員の研修を8月から10月の3か月間行うので、従業員採用にかかわる説明会を平成26年の5月17、18日、会場は両日ともニュータウンふれあいセンターで、また、同じく5月24、25日、この2日間は今宿コミュニティセンターにおいて開催する予定。

問 スーパーマーケット用地の工事状況について

答 昨年の12月議会でスーパー建設予定地の造成工事費を含めた区画整理特別会計補正予算の議決を受け、現在は準備段階。資材の調達擁壁材等建設搬入士の確保のための県土整備事務所との打合せした後、当該工事の本格的な造成工事に移っていく予定。

問 北部開発について

答 北部開発は、西の泉井、竹本、東の奥田と地域を決めて企業誘致を優先した北部開発が出来ないか。

問 第5次総合計画の土地利用構想では、大橋、泉井、須江、竹本にかかる地域に活性化エリア、奥田、大橋、今宿地内に工業系の産業誘導エリア、下熊井石坂地内に商業系の産業誘導エリアを位置づけている。

問 旧玉川工業高校のグラウンドは竹本地区に入るが、ときがわ町と協議したことはあるか。

答 玉川工業高校跡地をときがわ町と一緒に考えさせて頂きたいということでは話してある。

完成間近の良品計画の工事状況



完成間近の良品計画の工事状況

比企郡町村議会議員研修会

話し方のポイント

講師 フリーアナウンサー 屋木 綾伊子氏

比企郡町村議会議員研修会は、毎年開催されているものです。比企郡町村議会議員(東秩父村会)が、一堂に会する場において研修会を実施することにより、議員相互の情報交換の推進を図るとともに、各町村議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に寄与することを目的としています。

講師は屋木綾伊子氏(元ニッポン放送アナウンサー) テーマは「話し方のポイント」です。滑舌をハッキリすることから講演に入り、会話の重要性には、3つの要素があるという。他の人にメッセージを伝えようとする時は3つの要素を尊重すること。表情、声、言葉を重視して伝えること。

また、3つの敬語のつかい分けでは、尊敬語、謙譲語、丁寧語。たとえば、「一言う」を尊敬語では「おっしゃる」謙譲語では「申し上げる」丁寧語では「言います」となるということです。



リリックおがわ(小川町民会館)

姿勢までも研修をさせて頂きました。第1部の比企郡町村議会研修会の終了後、第2部が開催されました。第2部では永年表彰式があり、鳩山町から小川唯一議員と野田小百合議員が永年表彰を受けました。(小峰)

常任委員会報告

総務産業常任委員会

本委員会は2月6日所管事務調査を実施しました。

調査事項

(1) 鳩山町水道事業の設置等に関する条例の一部改正の件

鳩山町水道事業の設置等に関する条例の一部改正については、町の人口減少に伴い、平成34年度を目標年度として、給水人口及び1日最大給水量を変更するものです。

給水人口は「1万3790人」から「1万4700人」へ、最大給水量を「5600立方メートル」から「5700立方メートル」へ改めます。

(2) 地方公営企業会計制度の見直しの件

地方公営企業会計制度の見直しについては、一般企業の会計基準が国際基準を踏まえ、その都度見直されている一方で、

地方公営企業の会計制度は昭和41年以来大きな改正がなされておらず、相互の比較分析を容易にするためにも企業会計制度との整合を図る必要が生じてきたことによるものです。

総務省は平成21年12月に研究会を設置し、検討を進め「地方公営企業会計制度等研究会報告書」の提言をし、この報告書を踏まえて今回の会計制度の見直しが行われました。

今回の会計制度の見直しは、47年ぶりの大改正であり、予算・決算を含む会計処理の広範囲に影響が及びます。

見直しの基本的な考え方は、①現行の企業会計原則の考え方を最大限取り入れること。②地方公営企業の特性等を適切に勘案すること。③地域主権改革に沿っ

たものとする事等です。新しい会計基準の適用は、平成26年度予算及び決算から行われます。

鳩山町水道事業に関する事項としては

- ・借入資本金制度の廃止
- ・みなし償却制度の廃止
- ・引当金の見直し
- ・繰延勘定の原則廃止
- ・時価が帳簿価格より下落している場合には、当該時価をたな卸資産価額とするもの
- ・減損会計の導入
- ・リース会計の導入
- ・セグメント情報の開示
- ・キャッシュ・フロー計算書の作成
- ・勘定科目の見直し・注記表の作成



鳩山町配水場

・組入資本金制度の廃止等があげられています。説明を受けた後、本調査事項に関して、委員からの意見・質疑を経て本件の調査を終了しました。

(日坂)

福祉文教常任委員会

本委員会は3月7日に3項目の所管事務調査を実施しました。

第1 鳩山町地域福祉推進プラン（素案）について

地域福祉とは、すべての町民が互いに人権を尊重し、生活の中心である地域において助け合い、誰もがその人らしい安心で充実した生活ができるような、地域社会をみんなで作っていく取組みのことです。

町と社協が協働で地域福祉を推進するための計画づくりを行っています。が、この度素案が出来たというところで内容説明を受け、今後の調査の参考にすべきとするものです。

第2 子ども医療費支給事業及び重度心身障害者医療費支給事業の窓口払いについて

子ども医療費支給事業と重度心身障害者医療費支給事業の自己負担分の窓口払いが、本年4月診療分から、坂戸市・鶴ヶ島市エリアも窓口払いは不要になるといふことで

第3 鳩山町における学校給食の新たなあり方について

本町における学校給食については「安全・安心で栄養バランスのとれたおいしい給食」「児童・生徒の食育の推進」を基本理念に現在まで提供してまいりますが、学校給食センターは、使用開始後32年が経過しました。

同時に少子化の時代に入り、ハード面においては老朽化など多くの課題が出てきたため、平成24年3月より「学校給食の新たなあり方調査検

討委員会」を設置し、協議を重ねました。そしてこの度委員会からの提言書が提出されました。今後は鳩山町における給食センターのあり方について提言書を参考の一部として「給食施設の整備方式」を重点に考え、多くの課題を整理しつつ、ハード面・ソフト面ともに検討することになりました。

説明を受けた後、本調査事項に関して、委員からの意見・質疑を経て本件の調査を終了しました。

(田中)



改築が望まれる学校給食センター

第1回臨時会

1月30日に臨時会が開催されました。議案は今宿の生鮮食品スーパー建設予定地の宅地整地工事に関するものでした。

一般会計補正予算(第4号)

昨年の第4回定例会で議決された8300万円(整地工事経費7800万円、翌年度以降の円滑な事業推進のための経費500万円)のうち、5500万円について、『地域の元気臨時交付金』が活用できなくなつたため、町の『ふるさとづくり基金』から繰り入れます。

問 新年度予算に計上し、26年度事業として、すすめるべきではないか。

答 新年度予算に計上すると国の補助金・交付金の決定が6月頃になり、4、5ヶ月程度、工事が遅れることになる。

スーパーは27年5月操業開始予定。町は、それに間に合わせるよう最大限努力する必要があります。



造成工事が進むスーパー建設予定地

問 自己財源の少ない鳩山町にとって、基金の取り崩しは大きな負担になるのではないか。

答 『地域の元気臨時交付金』の交付限度額は変わらない。交付限度額満額を有効に使う。

宅地整地工事の請負契約締結

スーパー誘致予定地区の宅地を整地します。整地面積約1ヘクタール。県道と内川の間を県道と同じ高さにします。区画道路際に最大高さ5メートル、長さ190メートルの擁壁を作ります。建設搬入土は6000立方メートル。契約額は6195万円。

一部事務組合報告

町の事業を他の市町と共同して行う事業です。

西入間広域消防組合

消防組合

2月19日、定例会が開催されました。提出された議案は平成25年度一般会計補正予算、平成26年度一般会計予算案など8議案です。

補正予算は、739万円を減額し、歳入歳出とも12億2125万円とするものです。非常備消防団3町の負担金355万円、毛呂山町消防団の団員報酬200万円の減額等によるものです。平成26年度予算案は歳入歳出とも13億6996万円です。鳩山町の負担金は、常備消防費分は2億6236万円、非常備消防費分は2169万円です。審議の上、全議案とも可決されました。(石井)

坂戸地区衛生組合

2月6日、第1回定例会が開催されました。提出された議案は、平成25年度一般会計補正予算、平成26年度一般会計予算など4議案で、いずれも可決されました。平成26年度一般会計予算は3億1200万円、鳩山町の負担金は2620万円です。(小川)

埼玉西部環境保全組合

環境保全組合

2月28日、第1回定例会が開催されました。議案は平成25年度一般会計補正予算、平成26年度一般会計予算など3議案で、すべて可決されました。鳩山町の負担金は1億9656万円です。次期更新施設建設については、1月8日に画地の一部変更が決定したことを受け、測量

業務の基礎調査や基本プラン仕様等作成業務など具体的な経費が予算に計上されました。議案終了後、(財)日本環境衛生センター 速水章一氏による「私たちがくらしとごみ処理施設について」の講演、研修会が行われました。(中山)

広域静苑組合

第1回定例会が2月10日に開かれました。議案は、平成26年度一般会計予算でした。歳入歳出総額は、8996万円です。組合構成団体(越生町、毛呂山町、鶴ヶ島市、鳩山町)の分担金及び負担金は、平成26年度3957万円で、前年度より1248万円の減額となりました。減額になったのは、組合構成団体以外の火葬が、平成26年1月だけで33件あり、平成26年度も増加する見込みのためです。議案は慎重審議の結果、可決さ

れました。(小峰)

毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合

2月21日、第1回定例会が開かれました。上程議案は、平成26年度一般会計予算ならびに平成25年度一般会計補正予算など4件で、全て可決されました。

一般会計予算は、歳入歳出それぞれ17億9680万円、前年度と同水準の規模になりました。歳入の主な内訳は、分担金及び負担金7億4996万円、うち鳩山町の負担金1億4542万円。使用料及び手数料4億6380万円。組合債2億7440万円で、前年度比減分は、今年度より徴収開始の毛呂山町下河原地区ならびに鳩山町小用・大豆戸・赤沼地区の受益者負担金が補われています。また歳出は、土木費が10億9618万円。公債費が6億9303万円となりました。(松田)

議会クイズ

- 正解者の中から抽選で、5人の方に図書カード5000円分を差し上げます。
- クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

123名の当選者5名の方
おめでとうございます！

- 楓ヶ丘 三瓶 昌子様
- 楓ヶ丘 齋藤 賢明様
- 楓ヶ丘 滝沢 洋美様
- 楓ヶ丘 近藤 正良様
- 松ヶ丘 天神 征夫様

- ★ 前号の答え
- ① イ
- ② ア
- ③ イ

(応募方法)

はがきに「答え、住所氏名、年齢、性別、電話番号」を記入してください。

なお「議会だより」や議会に対してのご意見なども、ぜひお聞かせください。

(あて先)

〒350-0392
鳩山町大豆戸184-16
議会事務局「クイズ係」

(締切)

5月23日(金)

(当日消印まで有効)

奮ってご応募ください。

お待ちしております。

問題1

表紙の写真はどこの場所か。

- ア おしゃもじ山公園
- イ 農村公園
- ウ ジャンボ公園

問題2

平成26年度一般会計予算額は(億単位)

- ア 39億円
- イ 49億円
- ウ 59億円

問題3

新しく開通した道路の名前は。

- ア 鳩山中央線
- イ 坂戸鳩山線
- ウ 入西赤沼線

読者の声

ご意見、ご感想をたくさんありがとうございます！
ございました！

- 表紙がカラーでとても良い。
- 「問」「答」がカラーで大きく読みやすい。誌の中の風景がカラーになると良いと思う。

鳩山町に若い世代が住みたくなるような方策の検討を推進してほしい。
鳩山町の全国知名度を上げる方策の検討を推進してほしい。

- (例) 特産 ○ ○ 日本一 ○ ○ (は日本一)
- 60代男性
- 鳩山町子育てフェスティバル写真は冬の鳩山に明るさを運んでくれた。
- は1とんの活躍は時間をかけて。じっくりと頑張ってる。

70代男性

傍聴ありがとうございました。
次回の傍聴をお待ちしています

3月議会傍聴者数

3月3日	0人
3月4日	6人
3月5日	0人
3月6日	1人
3月11日	0人
3月12日	1人
3月14日	0人
合計	8人

※傍聴者数は傍聴券を返却された人数です。

議会傍聴の皆さんからこんなご意見・ご感想がありました

- 議場の暖房がききすぎ。町から節約をすすめるべきでは。
- 質問事項が重複する部分は事前に整理し、より多くの項目をチェックする機会にしたいと思います。
- 町主催の催しに議員の積極的な参加の姿がみえてこない。直接、関連議員だけでなく、その家族・仲間等の声かけ・努力が足りないと思います。
- 町の事業は住民の反省もあるが町当局のパワーアップを望む。

次回6月定例会は6月3日(火)から開催予定です

町議会は、年4回(3月、6月、9月、12月)の「定例会」と、必要があるときに開かれる「臨時会」があります。

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。議会を傍聴してみませんか。

編集後記

今年は何十年ぶりの豪雪に見舞われ、多くの方が被害に遭われました。世界的な異常気象のせいがかぐりら豪雨、竜巻、地震、雪害等人の力では左右できない災害が各地に起きています。「天災は忘れたころにやってくる」これは防災を怠るべきでないと言っ警句です。町では地域防災計画を見直しました。目を通しておく必要があるかと思えます。

本号が皆様のお手元に届く頃は新緑まぶしい穏やかな季節でしょう。議会の姿を皆様にお届けすることが出来たでしょうか。このメンバーでの編集は本号で終わります。

一年間お世話になりました。(小川)

第124号編集委員

- 委員長 中山 明美
- 委員 小峰 文夫
- 委員 石井 計次
- 委員 小川 唯一
- 委員 日坂 和久
- 委員 田中 種夫



● 鳩山町議会ホームページは [鳩山町議会](#) ← で検索してください。

平成26年 5月1日 発行

(〒350-0392 埼玉県北企郡鳩山町大豆戸184番地16)